

# モデル圃場候補地①：タンザニア キリマンジャロ農業研修センター（KATC）



講義棟外観



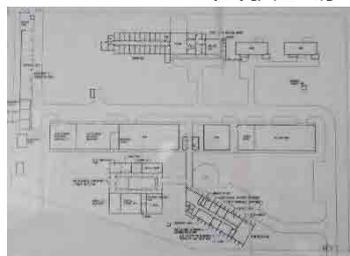
試験ほ場



倉庫外観



空中写真



建物平面図



倉庫内部



保管されている農業機械

## JICAの協力実施状況

キリマンジャロ州農業総合開発  
70年代～1993年

- ローアモシ灌漑地区の整備
- キリマンジャロ農業開発センターの創設

KATCプロジェクト（1, 2）  
1994年～2006年

- 目標：全国向け灌漑稲作研修拠点の創設
- 総事業費：23.5億円
- 受益者数：9スキーム、のべ8,346農家

タンライス（1, 2）  
2007年～2019年

- 目標：全国的な灌漑稲作研修体制の拡充
- 総事業費：16億円
- 受益者数：44スキーム、のべ36,000農家
- 成果：協力対象農家の生産性向上

平均収量 (t/ha)	協力前	協力後
灌漑稲作	3.2	4.5
天水低湿地稲作*	1.4	2.0
天水畑地稲作*	0.5	1.2

- \*現フェーズにて試行的にコースを開発・実施した

# モデル圃場候補地②：ケニア ジョモ・ケニヤッタ農工大学 (JKUAT)



- ケニアの有力5大学 (Big 5) の一つ。受験者数は国内最多、学生数約3万人
- アフリカ連合委員会 (AUC) が設立したアフリカ東西南北及び中央の5大学から成る汎アフリカ大学 (Pan-African University: PAU) において、JKUATは東部アフリカ代表且つSTI分野の幹事大学
- ナイロビの北東約40km。車で45分程度で幹線道路沿いの好立地



大学外観

- 学部構成 (関連学部抜粋) :
  - 農学部 (教員72名、学生1,304名)
    - 農学・環境科学
    - 食品・栄養科学
    - 天然資源・畜産科学
  - 工学部 (教員325名、学生4,234名)
    - 電気電子情報工学
    - 土木・環境・地理空間工学
    - 機械・生産・物質工学
    - 建築・建設科学
    - バイオシステム・環境工学



細胞培養によるバナナ苗の育成



トラクターの共同開発



精密分析技術講習会

学生によるプロトタイプ機作成 (卒業課題)

## JICAの協力実施状況

大学設立計画/ジョモ・ケニヤッタ農工大学プロジェクト  
70年代-

- 1979年に日本の無償資金協力により高等専門学校として設立
- 1980年代以降、無償、技協を通し体制を強化



アフリカ型イノベーション振興・JKUAT/PAU/AUPプロジェクト (AFRICA-ai-JAPAN Project/Phase1/2)  
2014年-2020年/2020年-

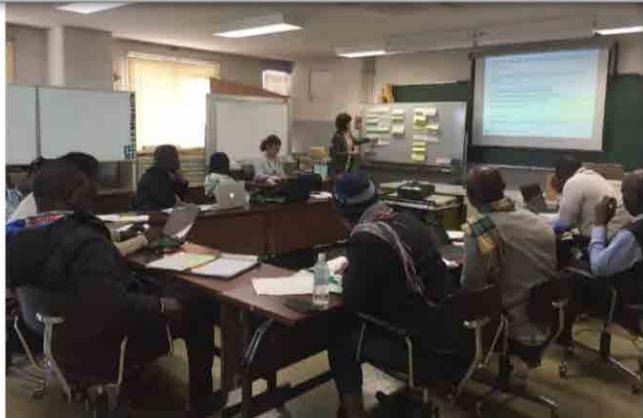
- STIを生み出す学生の輩出
- アフリカ実社会のニーズに即した研究成果を追求、アフリカ域内外の高等教育機関・産業界との連携を計画

高付加価値果菜類の施設園芸ノウハウ普及・実証事業 (株式会社和郷)  
〈本邦民間企業との連携実績〉  
2017年-2019年

# 農業機械化のための政府職員育成研修

## ■ 2019年度JICA課題別研修「アフリカ地域農業機械化促進コース」実施中（JICA筑波）

対象国：タンザニア、シエラレオネ、セネガル、マラウイ、リベリア、ギニアビサウ、  
コートジボワール、カメルーン



研修受け入れ先：  
サタケ、クボタ、ヤンマーア  
グリ、北田工作所、茨城  
県立農業大学校、JA  
水郷つくば、NARO等

**「参加者募集中」**  
**研修参加者による発表会**  
**（コメ増産に向けた農業機械**  
**化戦略および取組）**  
**および個別意見交換会**

12月19日(木) 10:00-11:30  
JICA東京(幡ヶ谷)にて  
※個別意見交換会は同日発表会  
後を予定しています。  
お問い合わせ・申込は以下担当まで  
松下  
Matsushita.Yuichi@jica.go.jp  
中川  
Nakagawa.Maho@jica.go.jp